

品 名		BD-HW410A	(自動乾燥機能付・熱動弁内蔵)
		BD-HW410	(熱動弁内蔵)
		BD-HW411	
	BL 認定品	XBD-4115AUSK	(熱動弁内蔵)
		XBD-4115BUSK	(自動乾燥機能付・熱動弁内蔵)

換気機能付き製品

この機器は、消費生活用製品安全法の長期使用製品安全表示制度で指定されている製品です。

この設置工事説明書の表示について

この設置工事説明書では、機器を正しくお使いいただき万一の事故を未然に防ぐために、以下のような表示で注意を呼びかけています。

表示について（表示の意味は次のようになっています）



警告

この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示については次のような意味があります。



一般的な禁止



アースを接続せよ



電源プラグを抜け



必ず行う

工事される方へのお願い

- ・この機器を正しく安全に使用していただくために、この「設置工事説明書」をよくお読みになって指定された正しい工事を行ってください。本書の設置条件を外れた設置が原因で生じた故障などは、保証期間内であっても保証の対象になりませんのでご注意ください。
- ・工事終了後、取扱説明書（保証書付）の保証書に必要事項を記入し、必ずお客さまに渡してください。
- ・当社の定める施工要領を逸脱しない据付工事に不具合（瑕疵）が生じ、施工者が無償修理や損害賠償を行った場合、BLマーク証紙の貼付（または刻印等）がされている部品については、一般財団法人ベターリビングのBL保険制度に基づき保険金が支給されます。
- ・BL保険制度や当住宅部品の施工要領の詳細については、一般財団法人ベターリビングのホームページ（<http://www.cbl.or.jp/>）をご覧ください。なお、BL保険制度に関する質問は、一般財団法人ベターリビング（TEL 03-5211-0559）でもお受け致します。

もくじ

1. 付属部品	4	7. 設置工事後の確認	17
2. 別売部品	5	8. 試運転	17
3. 設置場所の確認	6	9. ランドリーパイプ（別売部品）の取り付け	17
4. 機器の設置	7	10. 既存の換気口を利用した取り付け	18
5. 電気工事	15	11. お客さまへの説明	18
6. リモコンの取り付け	16	12. 外形寸法図	19

警告

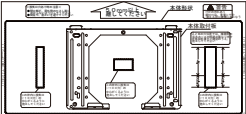
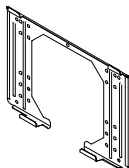
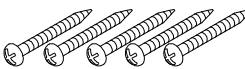
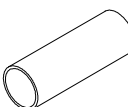
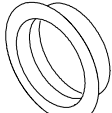
	設置は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼してください。お客さま自身で設置工事をされ不備があると、感電・火災・水漏れの原因になります。
	設置工事はこの設置工事説明書に従って確実に行ってください。設置に不備があると、感電・火災・水漏れの原因になります。
	設置は必ず付属部品および指定部品を使用してください。当社指定部品を使用しないと、機器の落下、感電、火災、水漏れの原因になることがあります。
	設置は機器の重量に充分耐えられる場所に確実に行ってください。強度不足や取り付けが不完全な場合は、機器の落下によりけがの原因になります。
	凍結予防のため冬季はブレーカーを「ON」にしておいてください。冬季外気温が0℃以下になると温水回路の水が凍結し温水回路の破損につながります。破損しますと、多大な被害を起こすことがあります。
	電気工事は有資格者により「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」および設置工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。電源回路の容量不足や施工不備があると感電・火災の原因になります。
	電源ケーブルは確実に接続してください。 不確実な接続をすると接続部が加熱し、火災のおそれがあります。
	電源ケーブルは確実に固定してください。 揺れによる摩擦で被覆が破れた場合、感電や火災の原因になります。
	電源ケーブルや信号線に傷をつけないでください。 また、傷がついたものは使用しないでください。火災の原因になります。
	高さが2 m以上の高所での作業は、安全確保のための装備（保護帽、手袋、安全帯、安全作業靴、脚立など）を必ず使用してください。落下事故の原因になります。
	メタルラス張り、ワイヤラス張り、金属板張りの木造造営物に金属製のダクトや配管などが貫通する場合は、金属製のダクトや配管などとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないように絶縁処理をほどこしてください。漏電した場合、発火の原因になります。
	浴室内または浴室に隣り合わせている脱衣室などに自然排気（CF）式、強制排気（FE）式のふろがまや給湯器が設置してある場合は、この機器を取り付けできません。排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。
	浴室以外（脱衣所・クローゼットなど）には絶対に取り付けしないでください。温度が上昇し、壁や天井のクロスの変色やはがれ、可燃性ガスを含んだスプレーの発火・爆発など思わぬ事故の原因になります。
	絶対に分解や修理、改造はしないでください。感電・火災・けがの原因になります。
	アース工事を行ってください。アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は感電の原因になります。

⚠ 注意

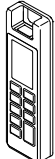
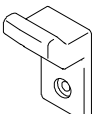
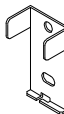
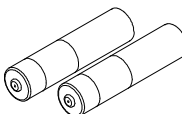
	表示してある電源（AC100V）以外では使用しないでください。 火災の原因になります。
	漏電ブレーカーの取り付けが必要です。 取り付けられていないと感電の原因になることがあります。
	部品の取り付けは確実に行ってください。 落下によりけがをするおそれがあります。
	可燃性ガスが漏れるおそれのある場所には設置しないでください。 万一ガスが漏れて機器の周囲にたまると、火災の原因になることがあります。
	架橋ポリエチレン管（ペアチューブ）で配管する場合は、次のことに注意してください。 ・太陽光に長時間さらさないでください。 架橋ポリエチレン管（ペアチューブ）は、紫外線により劣化するため、太陽光に長時間さらさないでください。 特にアルミ蒸着フィルムを巻かずに太陽光に長時間さらされた部分は使用しないでください。 ・架橋ポリエチレン管（ペアチューブ）は、屋内の太陽光のあたらない場所に保管してください。 ・架橋ポリエチレン管（ペアチューブ）は丁寧に扱ってください。 ・コンクリートの床に置く場合は、ダンボールなどを敷いて保護してください。
	架橋ポリエチレン管（ペアチューブ）取り扱い時にカッターナイフは使用しないでください。 ペアチューブカッターやたてさき刃を使用してください。
	架橋ポリエチレン管（ペアチューブ）はトルエン系の溶剤に弱いため、油性マーカーで直接書き込みをしないでください。
	架橋ポリエチレン管（ペアチューブ）を切断するときは、必ず樹脂管カッター（J カッター）を使用してください。 塩ビカッターなどで切断すると切り口が変形し、差し込めなくなります。
	温泉水を引き込んだ浴室には設置しないでください。 温泉水や温泉成分を含んだ入浴剤を使用した温水が機器に付着すると、変色・腐食などにより性能および耐久性を著しく損なう原因となります。
	リモコンフックは必ず取り付け、リモコンはチェーンでつないでください。リモコンフックの取り付け場所はリモコンを浴槽の縁、カウンターなどに置けないところを選んでください。リモコン内に水が浸水し故障の原因になります。

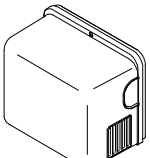
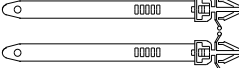
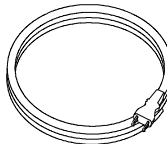
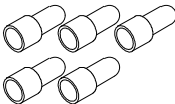
1. 付属部品

梱包内には、保証書付き取扱説明書・設置工事説明書（本紙）以外に、下記の付属部品が入っていますので
取り付けの前に確認してください。

機器本体				
型紙	本体取付板	本体取付板固定ねじ	浴室内ユニット固定ねじ	壁貫通パイプ
 1 枚	 1 個	$\phi 4 \times 60$  5 本	M4×10  2 本	外径: $\phi 89$ VU75相当 L=250mm  1 個
換気筒ゴム				
 1 個				

温水ホース		
継手（メス）	バンド	CHクリップ
 2 個	 2 個	 2 個

リモコン				
リモコン	フック	フック取付金具	フック固定ねじ	単四形乾電池
 1 個	 1 個	 1 個	$\phi 4 \times 30$  2 本	 2 本

換気ファンユニット				
換気ファンユニット（換気ファン付）	換気ユニット固定ねじ	換気ユニットカバー固定ねじ	結束バンド	電源ケーブル
 1 個	$\phi 4 \times 30$  4 本	$\phi 4 \times 10$  3 本	 2 個	アース線付 5m  1 本
クランプ	閉端接続子			
 1 個	 5 個			

必要な工具、検査機等

- ・電気ドリル（チャック $\phi 13\text{mm}$ 以上）
- ・ホルソー $\phi 100$ （ダイヤモンドコア、木工用コア、板金用コア）
- ・センター出し用ロングドリル
- ・下穴用コンクリートドリル
- ・脚立（脚部を養生したもの）
- ・水準器（長さ150mm程度）
- ・塩ビパイプ切断用のこ
- ・養生材
- ・掃除機
- ・引き回しのこ
- ・防塵メガネ、マスク
- ・壁裏センサー
- ・テストポンプ
- ・テストアダプター（L-CHテストアダプター）
- ・CD管カッター（CD管カッター22A、30A）
- ・樹脂管カッター（カッター930）
- ・ペアチューブカッターのアルミテープの切断用（たてさき刃）
- ・樹脂管差込み工具（スモ－サー07、10）
- ・圧着ペンチ

2. 別売部品

別売部品

部 品 名	品名	部品コード	用 途
浴室暖房乾燥機用部材セット	HB-3105	ZQB35	φ10 樹脂管 7m セット
浴室暖房乾燥機用部材セット	HB-3104	ZQB34	φ7 樹脂管 7m セット
配管用部材セット	HB-0110	*L071	φ10 用：高温端末併設用
配管用部材セット	HBB12F	ZQB09	φ10 用：単独設置用
配管用部材セット	HBB11F	ZQB07	φ10 用：低温端末併設用
CD 管入ペアチューブ	PT-10D-CDE-W		内径φ10、CD 管、信号線 3 心線入り各種
スリムダクト	S0911		2m
スリム平面エルボ	S0913		
スリムソケット	S0915		
スリム自在継手	S0916		
QF ジョイント (10A 用)	CH-J10AOF	*L546	クリップ付き 2 ケ入
QF 止水栓	CH-H1F	*L544	クリップ付き 1 ケ入
CH ジョイント (10A 用)	L-CH ジョイント 10A	ZQCHB	クリップ付き 1 ケ入
ランドリーパイプ	FB-3000	L182	0.95～1.8m までの伸縮可能、フック、ねじ付き
角穴用閉塞板	FB-3001	S0280	350×250×t3 (mm)
電源ボックスセット	DU-5		電源ケーブル付漏電リレーセット

現地調達品

部 品 名	備 考
防水型露出用コンセント	分電盤に漏電ブレーカーがない場合は、漏電ブレーカー付きのこと
シリコンコーキング剤	防カビタイプ、例：信越化学工業シーラント 45 相当品
閉端接続子	CE-2 日本端子 同等品
丸型端子	V1.25-M4 日圧 同等品
プラグ	ユニットバスの場合：フィッシャープラグ NA8×30 等
ユニットバス補強用合板	60×200×t12 (mm)、80×80×t12 (mm)
アルミテープ	幅 50mm×長さ 400mm
ビニールテープ	

3. 設置場所の確認

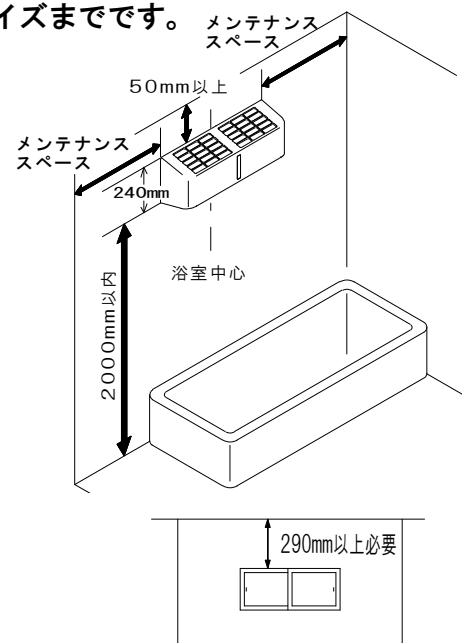
(1) 設置する浴室は、在来工法は1.5坪まで、ユニットバスは1625サイズまでです。

(2) 設置面の壁は外壁面で、機器本体の中心が浴室中心であること。

- ・設置面の壁は外壁面で、機器本体の中心が浴室壁面の中心になるように取り付けてください。
- ・機器は浴室床面から機器本体底面までが2000mm以内になるよう設置してください。
- ・設置位置が高すぎると、温風が下の方まで届かず上下の温度ムラが大きくなる場合があります
- ・設置面の壁厚は下表参照し設置してください。262mm以上は壁貫通パイプ（現地調達：排水用塩ビ管 VU75）が必要です。

最大取付壁厚（単位：mm）

左穴	中央穴	右穴
260	460	520

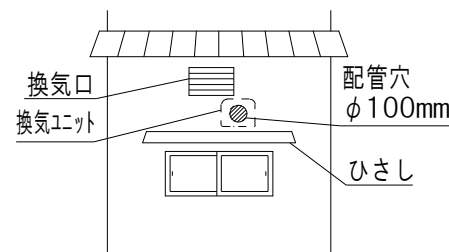
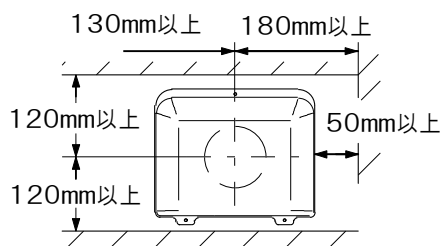


(3) 設置時に機器が窓にかからないこと。

- ・天井から窓（ドア）の上端まで290mm以上（機器高さ240mm+50mm以上）のスペースが必要です。
- ・機器取付壁面の横幅は、640mm以上必要です。（機器幅620mm+メンテナンススペース 左右各10mm以上）
- ・機器を窓（ドア）の上に設置する場合は、機器のルーバーが開いた時、接触しないように設置してください。

(4) 換気ユニットがひさし、換気口等にかからないこと。

- ・φ100の開口部に換気ユニットを取り付けたとき、換気ユニットがひさし、換気口等にかからないように位置関係の確認をしてください。
- ・換気ユニットの排気口付近に障害物がないか確認してください。



(5) 開口位置は、壁裏の間柱、筋かいを回避すること。

- ・壁裏センサーを使用したり、壁をたたいて音で判断し、または建築構造や間柱のピッチ等により判断してください。
- ・ユニットバスに設置する場合、ユニットバスの補強桟（金属）を避けてください。（壁裏センサーで確認してください。なお、ユニットバスのパネルとパネルの合わせ目には、補強桟が入っています。）

(6) 浴室の内・外壁が損傷していないこと。

- ・タイル、壁等が損傷している場合には、お客さまに説明をして了承を得ておくか、事前に補修を行っておく必要があります。

(7) 既存の換気口はふさぐ。

- ・既存の換気口がある場合は、暖房能力が低下する場合がありますのでふさいでください。

(8) 屋外での作業スペースの確保。

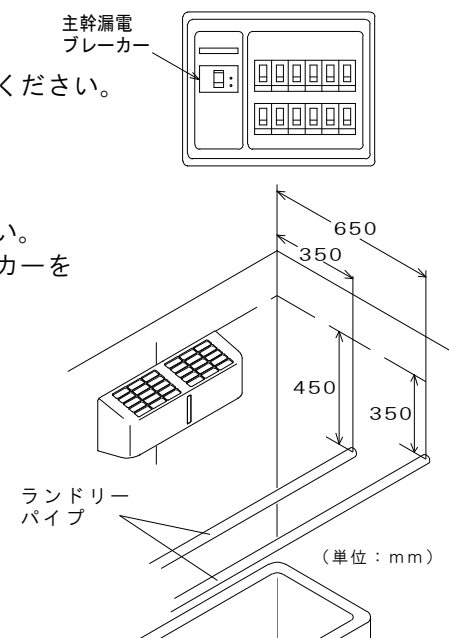
- ・作業スペースとして外壁から600mm以上必要です。

(9) 漏電ブレーカーの確認。

- ・屋内分電盤に右図のような漏電ブレーカーが設置されているか確認してください。
- ・漏電ブレーカーがない場合は、分電盤の浴室暖房乾燥機用電路部に漏電ブレーカーを追加し、防雨型露出用コンセントを設置してください。（必ず浴室暖房乾燥機の電路部に漏電ブレーカーを設置してください。）

(10) ランドリーパイプの取り付け位置の確認。

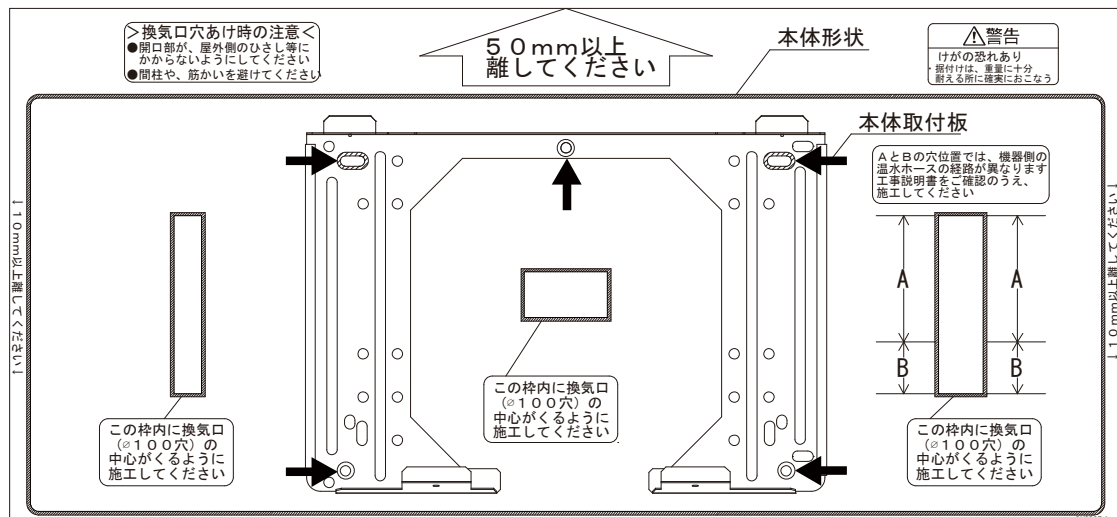
- ・取り付け位置に照明や窓があたらないか確認してください。場合によっては一本しか設置できない場合があります
- ・右記標準設置図で照明や窓に接触するおそれのある場合は、できるだけ標準設置に近い場所に設置してください。
- ・ランドリーパイプを使用しないときの収納用フックの位置はお客さまとご相談のうえ取り付け位置を決めて施工してください。（入浴の邪魔にならない位置にしてください。）



4. 機器の設置

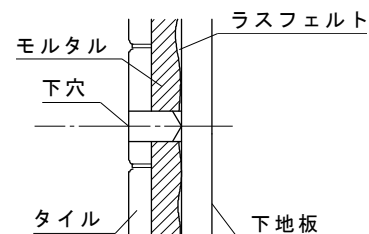
(1) 墨だし

1. 機器を設置する壁面に型紙（付属品）を貼り付け、水準器で水平を確認してください。
特に傾斜天井の場合は注意してください。また、天井高さが 2.2m 以上ある場合は、ランドリーパイプの位置に留意して取付位置を決定してください。
2. 型紙の上から、壁面に対して配管穴の中心位置のしるしを付けてください。
排気・配管穴位置により右、中央、左のいずれかを選択してください。
3. 同様に本体取付板の本体取付板固定ねじの下穴位置（5箇所）のしるしを付けてください。
下図の  部にしるしを付けてください。
4. しるし付けが終わったら、型紙を壁面より取り除いてください。（型紙は破らないように注意してください。）



(2) 排気・配管用穴および本体取付板固定ねじの下穴加工

1. 壁面に墨だした開口中心位置および本体取付板のねじ取り付け用の下穴位置（5箇所）にポンチにてドリル中心位置を決めてください。
（タイル等を割らないように注意してください。）
2. $\phi 4$ ねじの下穴（ $\phi 3.4\text{mm}$ 穴）を開けてください。
（開口中心位置 1箇所、取り付けねじ下穴 5箇所）
取り付けねじ下穴 5箇所はタイルとモルタル部にだけ開けてください。

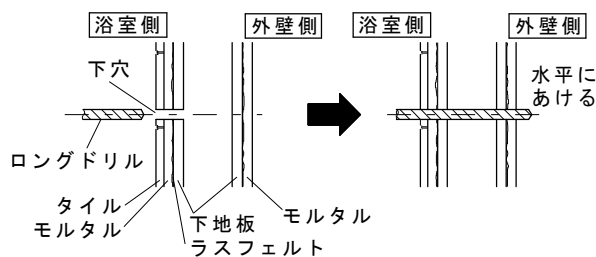


注）タイルの目地での下穴あけについては、タイルを破損しないよう十分注意してください。

(3) 排気・配管用穴加工

1. 開口下穴より、ロングドリルにて外壁に対して下穴を開けてください。

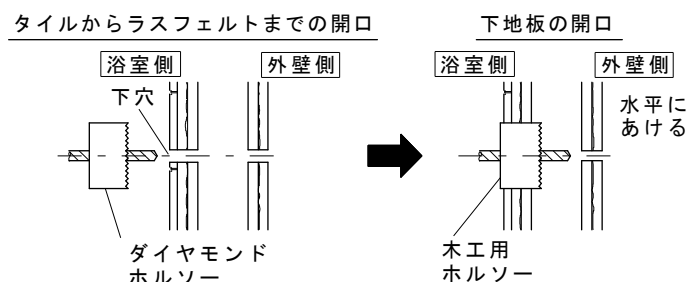
注）外壁貫通時に外壁をわらないよう十分注意してください。



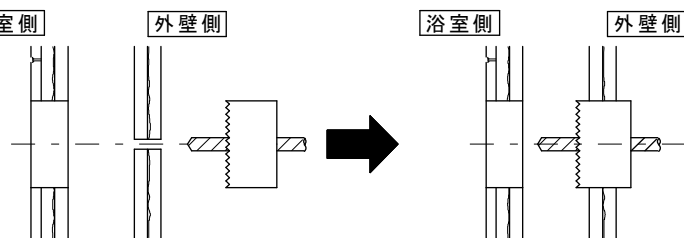
2. 浴室側のタイルを下穴に沿って $\phi 100$ ダイヤモンドホルソーにて開口してください。
3. 下地板を $\phi 100$ 木工用ホルソーにて開口してください。

注）壁材質によってホルソーを選んでください。

タイル、ALC・・・ダイヤモンド
下地板、モルタル・・・木工用
塩ビ鋼板・・・板金用



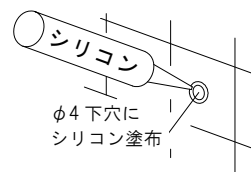
4. 外壁側から下穴にそって $\phi 100$ 木工用ホルソーにて開口してください。



(4) 本体取付板（付属部品）の固定

在来工法の場合

1. 本体取付板固定ねじの下穴の周囲にシリコンを塗布してください。
2. 本体取付板を本体取付板固定ねじ 5 本（付属部品：φ4×60）にて壁面に仮固定してください。
3. 本体取付板の水平を水準器にて確認し、本体取付板固定ねじで壁面に固定してください。
中央 1 か所を固定し、水準器で水平を確認しながら他のねじを締め付けてください。
4. 本体取付板固定ねじの周囲にシリコンを塗布してください。



ユニットバスの場合

注) 壁面補強の為、必ず 1 か所は補強合板（現地調達:60×200×t9~15）にて補強してください。

プラグは、フィッシャープラグ NA8×30（現地調達）を使用してください。
プラグは一例です。

機器の質量に十分耐えるもの（10kg 以上）を使用してください。

1. φ4 下穴の 5 か所の内、4 か所（補強合板が入らない所）に使用するプラグに合ったサイズの下穴をあけてください。
下穴のサイズは使用するプラグの寸法指示に合わせてください。
2. プラグを 4 か所に打ちこみ、プラグの周囲にシリコンを塗布してください。
3. 補強合板に接着剤を塗布し、φ100 穴より壁面裏に入れてください。

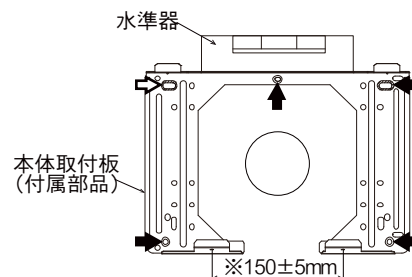
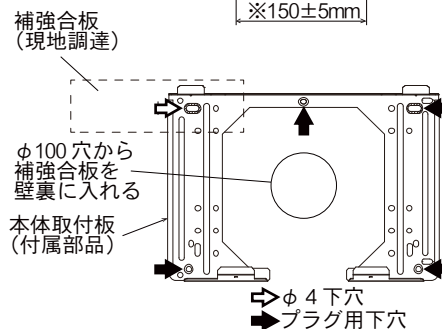
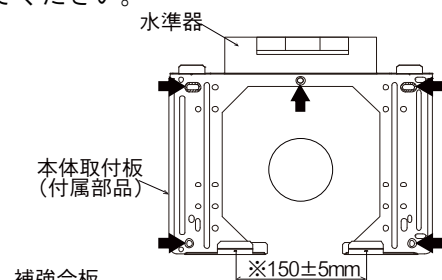
注) 補強合板位置は、φ4 穴位置に必ず合わせてください。

補強合板は壁裏面に約 50mm のスペースがあれば入ります。
もし入らない場合は補強合板を少しカットしてください。

4. φ4 下穴（1 か所）の周囲にシリコンを塗布してください。
5. 本体取付板の水平を水準器にて確認し、本体取付板固定ねじ 5 本（付属部品：φ4×60）で壁面に固定してください。
水準器で水平を確認しながら他のねじを締め付けてください。
6. 本体取付板固定ねじの周囲にシリコンを塗布してください。

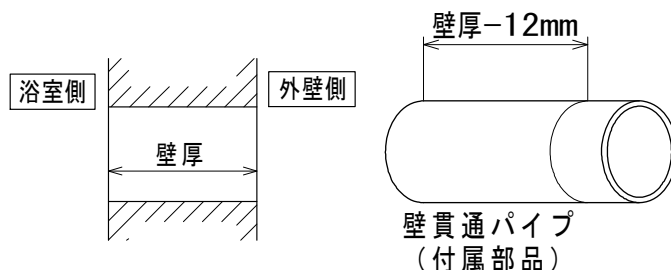
注) 本体取付板を本体取付板固定ねじで固定する際、左右方向へ変形しないように注意してください。

設置後、右図の※部の寸法を確認してください。



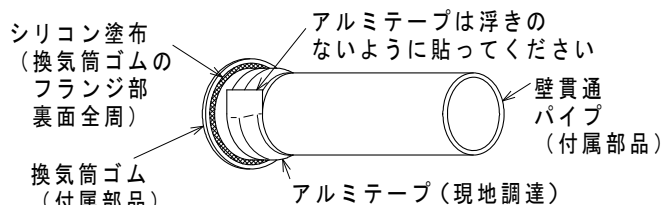
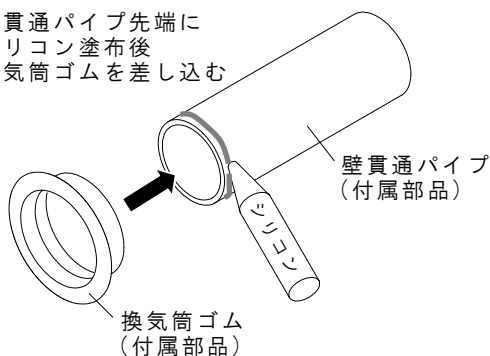
(5) 壁貫通パイプ（付属部品）の取り付け

1. 壁貫通パイプ(付属部品)を、**壁厚-12mm**の長さでカットしてください。
壁厚が 262mm を越える場合は、VU75(排水用塩ビ管:現地調達)を使用してください。

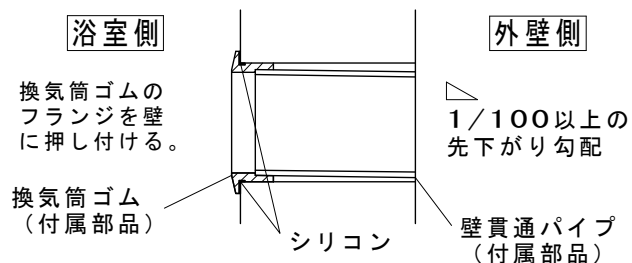


2. 上記寸法にカットした壁貫通パイプ先端の全周にシリコンを塗布し、換気筒ゴム(付属部品)に壁貫通パイプを差し込み、アルミテープで固定してください。アルミテープで固定するときに 1/100 以上の先下がり勾配をとってください。
3. 換気筒ゴムのフランジ部裏面全周にシリコンを塗布してください。

壁貫通パイプ先端に
シリコン塗布後
換気筒ゴムを差し込む

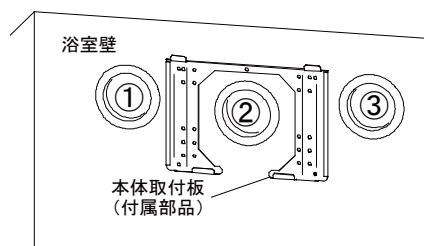


4. シリコンを塗布した換気筒ゴムと壁貫通パイプを、排気・配管用穴に挿入してください。
挿入後、換気筒ゴムのフランジ面を壁に押し付けて壁と換気筒ゴムを密着しシールしてください。



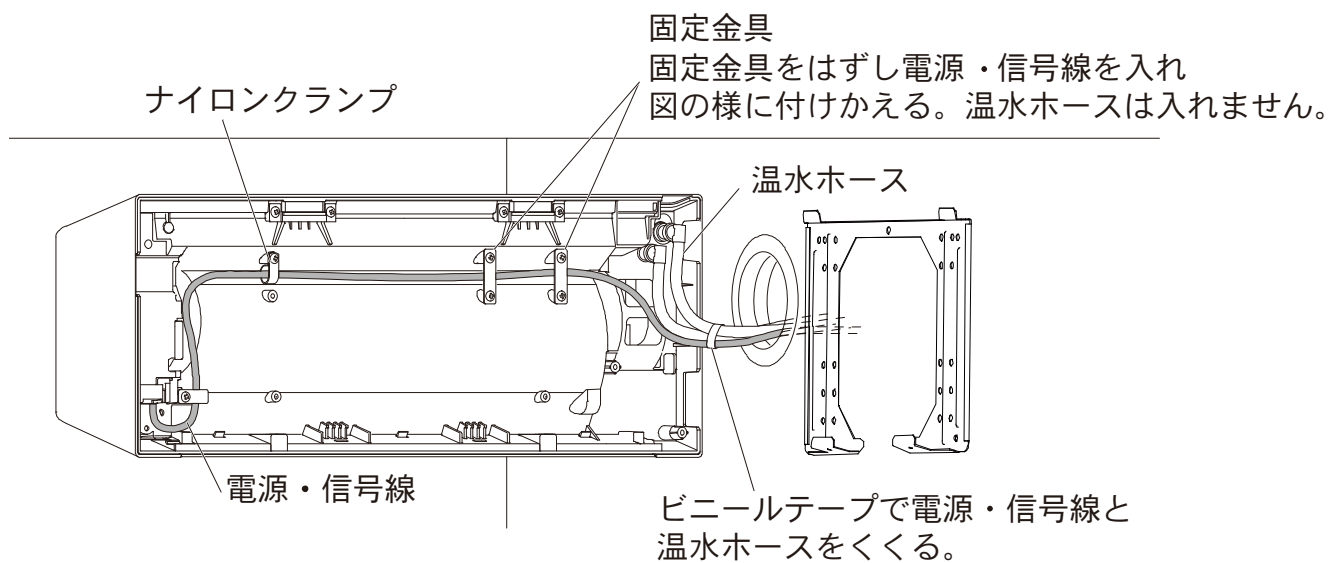
(6) 機器本体の取り付け

1. 排気・配管用穴位置を確認してください。
排気・配管用穴位置に合わせ機器本体後面の固定金具を付けかえてください。

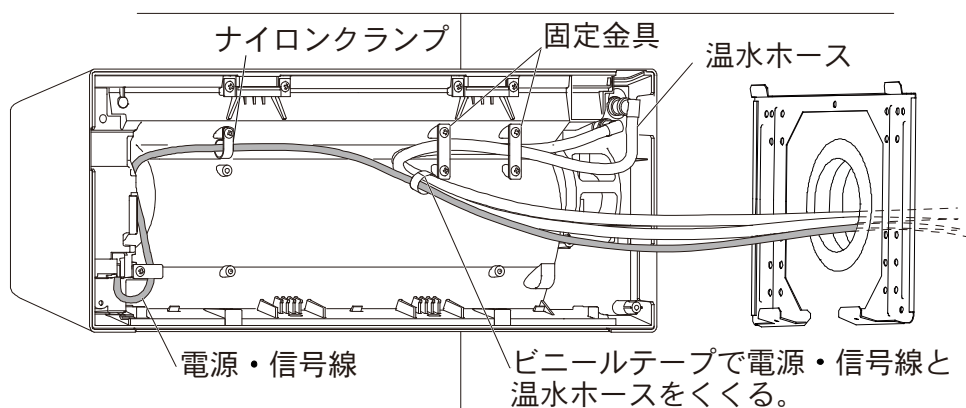


■機器側配管図

換気・配管用穴が①の場合



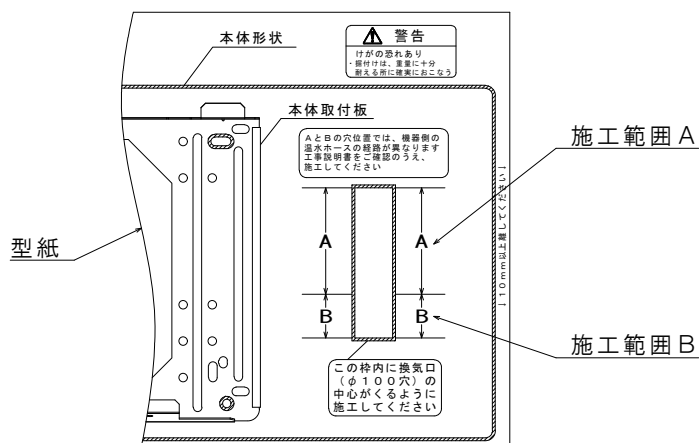
換気・配管用穴が②の場合



換気・配管用穴が③の場合

※穴位置が③の場合は、穴中心位置が型紙に示すようにAとBの範囲に別れます。

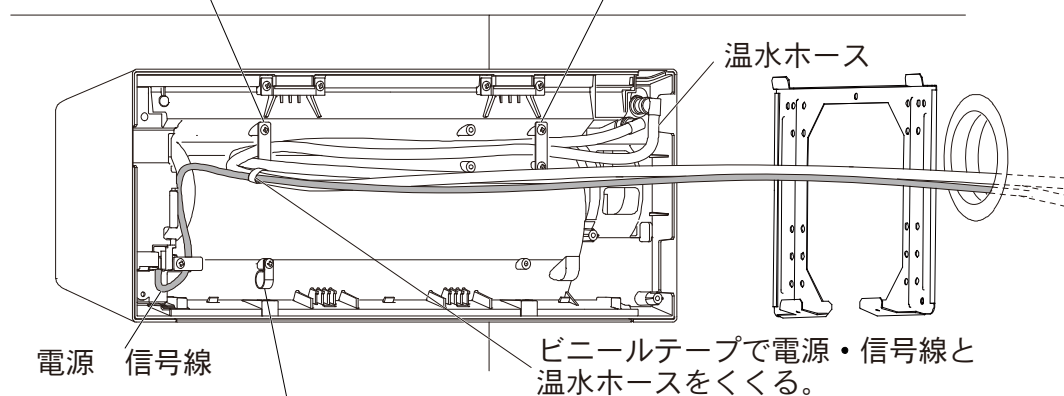
以下に示します、各範囲での施工方法をご確認ください。



◆施工範囲Aの場合

1箇所固定金具に付けかえる

固定金具

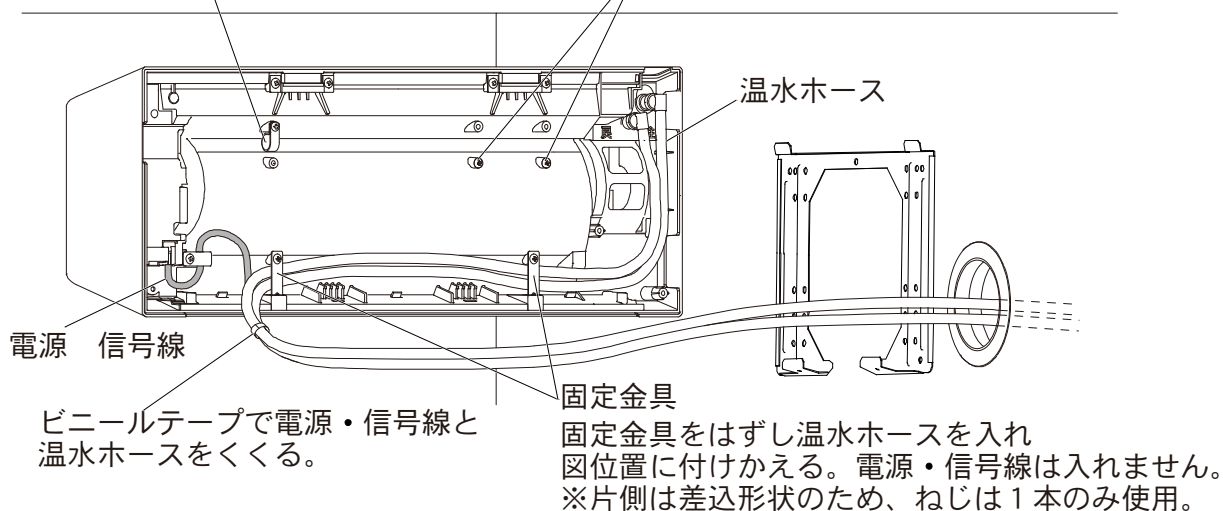


電源・信号線を外したナイロクランプは、
紛失しないように図位置に戻します。

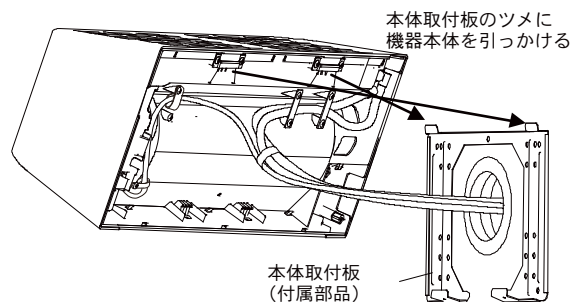
◆施工範囲Bの場合

電源・信号線を外したナイロクランプは、
紛失しないように図位置に戻します。

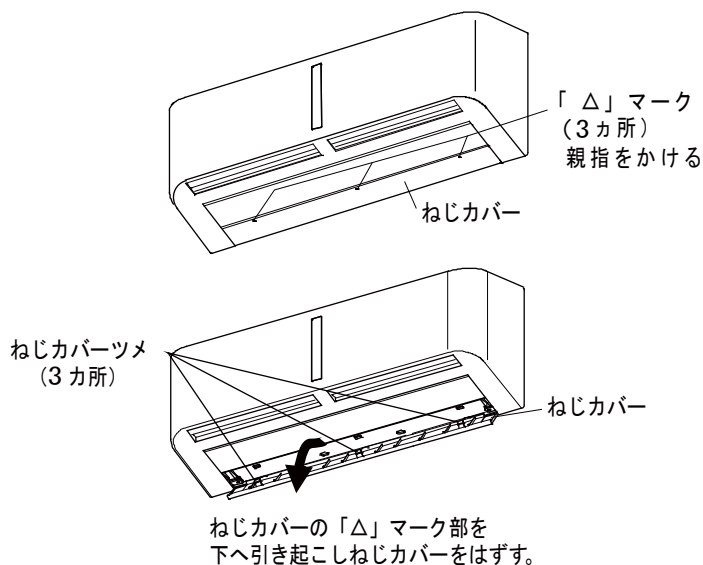
固定金具をはずして余ったねじは、
紛失しないように図位置に戻します。



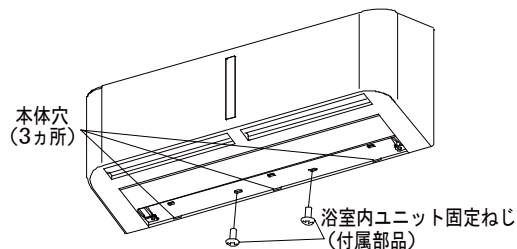
2. 温水ホースと電源・信号線の先端部をビニールテープなどでくり、右図のように壁面の排気・配管用穴に送り込みながら、機器本体を本体取付板の上部のツメに上から引っかけてください。



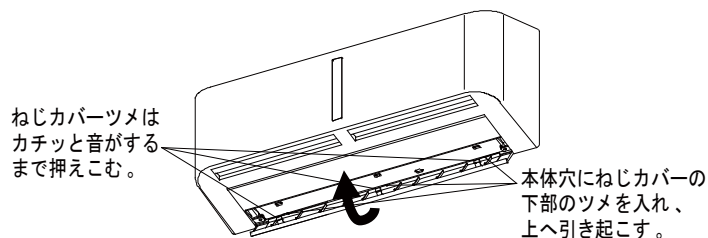
3. 機器本体のねじカバーをはずしてください。
ねじカバーの「△」マーク部を下へ引きねじカバーをはずしてください。



4. 機器本体の取り付け状態がガタツキなく水平が出ていることを確認してください。
確認後、浴室内ユニット固定ねじ(付属部品:M4×10)で本体取付板に取り付けてください。



5. ねじカバーを取り付けてください。
本体穴(3ヶ所)にねじカバーの下部ツメを入れたのち、ねじカバーを上へ引きはめ込んでください。
ねじカバーは、ねじカバーのツメ3カ所が、カチッと音がするまで押えこんでください。



注) 壁と機器本体外周の全周はコーキングしないでください。

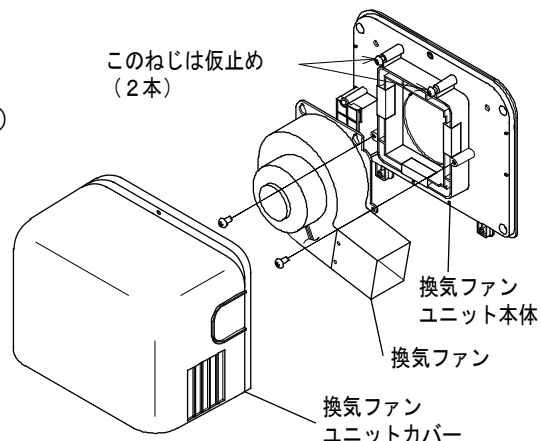
(7) 換気ファンユニットの取り付け

換気ユニット本体の取り付け

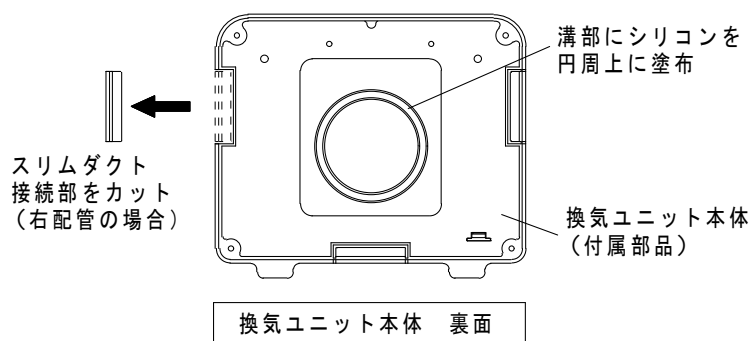
1. 換気ファンのねじをはずし、図の状態にしてください。
(換気ファン固定ねじ上部 2 カ所は仮止めにしておいてください)

注) はずしたねじはなくさないでください (2 本)

2. 換気ユニット本体の配管取り出し方向のスリムダクト接続部を
塩ビパイプ切断のこ、またはカッターでカットしてください。
左右下、3 方向でスリムダクトを接続でき、下図は右配管例です。

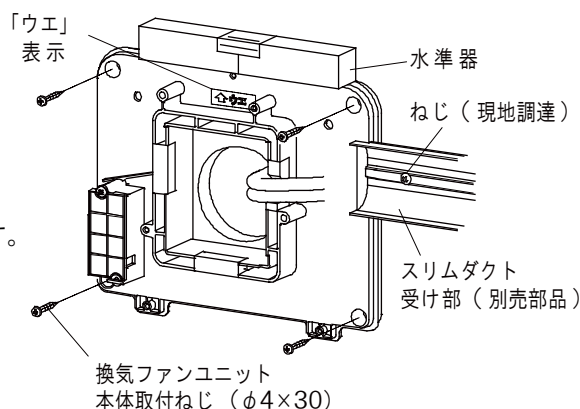


3. 換気ユニット本体裏 (取り付け時壁側) の溝部にシリコンを円周上に塗布してください。



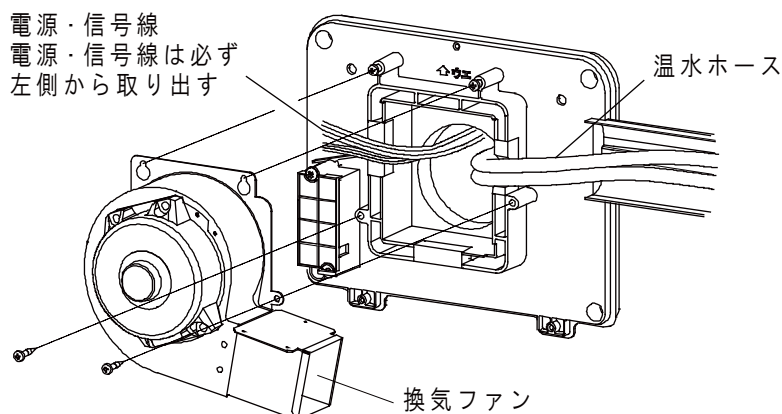
4. 換気ユニット本体の中央穴部に温水ホース、電源・信号線を通し、
換気ユニット本体裏の溝部に壁貫通パイプが入るように壁面に
取り付け水準器で水平を確認し、換気ユニット本体固定ねじ 4 本
(付属部品:φ4×30)で壁面に取り付けてください。
換気ユニット本体には取り付け方向(「ウエ」の表示)があります。
上下を間違わないように取り付けてください。

5. スリムダクト(別売部品)の受けを壁面にねじ(現地調達)で取り付け
てください。

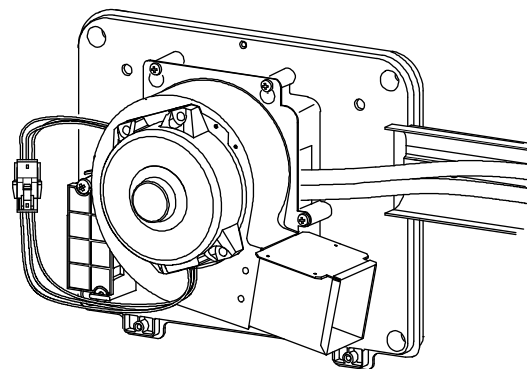


換気ファンの取り付け

1. 壁貫通パイプから取り出した温水ホースは引き出す方向のパッキン貼付部で曲げてください。
電源・信号線は必ず左側から取り出してください。
電源・信号線は壁貫通パイプ内でたるみがないよう引き出してください。
2. 換気ファンを換気ユニット本体の仮止めにあったねじに引っ掛け、下側のはずしてあったねじを締め付けた後
仮止めにあったねじを締め付けてください。
3. 電源・信号線の換気ファンコネクタと換気ファンのコネクタを接続してください。



仮止めたねじに換気ファンを引っ掛け、
下側の外したねじを締め付けた後、仮止め
しているねじを締め付ける

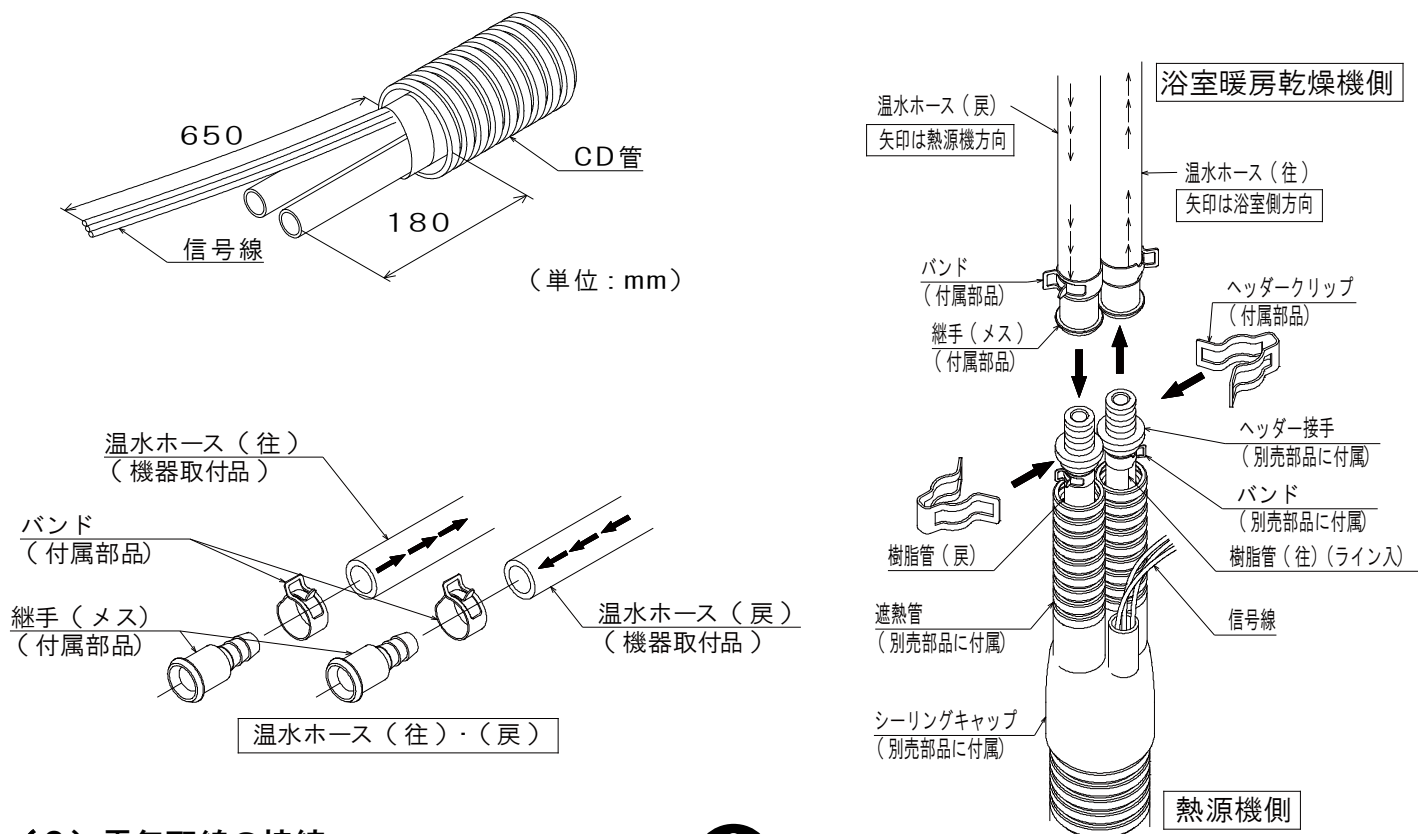


換気ファンのコネクタと電源・信号線の
換気ファンコネクタを接続する

(8) 温水配管の接続

1. CD 管の先端の被覆を 650mm の長さで取り除き、樹脂管を下図のようにカットしてください。
2. シーリングキャップを挿入してください。
3. 遮熱管を樹脂管に挿入し、ヘッダー接手をバンドで取り付けてください。
4. 温水ホースにバンドを挿入してから継手(メス)を取り付けバンドでしっかり固定してください。
温水ホースは方向があります。温水ホースに印刷されている矢印の向きに注意し図を参考に取り付けてください。
5. 浴室暖房乾燥機側の温水ホース(往・戻)と樹脂管(往・戻)を接続し、ヘッダークリップで固定してください。
行き配管と戻り配管を間違わないようにしてください。温水ホース(往)と樹脂管(往)ライン入りを接続してください。

注) 熱源機により使用する別売部品が異なる場合があります。別売部品は P5 を参照してください。



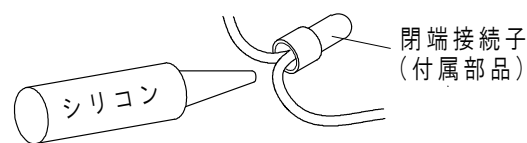
(9) 電気配線の接続

必ず電源プラグを抜いてから作業を行うこと



閉端接続子(付属部品)の圧着接続後は閉端接続子にシリコン(現地調達)を注入し絶縁処理をしてください。

熱源機側の信号線接続は熱源機の設置工事説明書をご覧ください。
接続したリード線の色は右表の通りになっているか確認してください。
特に「インテリジェント信号線」と「E-con 接続」の信号配線は間違いやすいので注意してください。

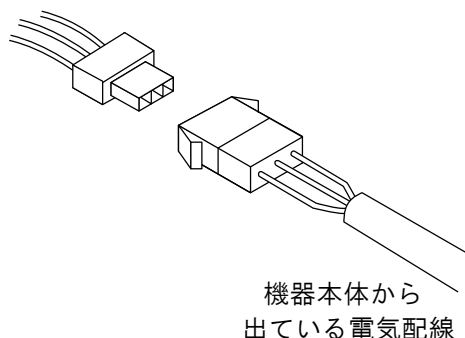


インテリジェント通信		E-con	
橙	灰	赤	白

電源ケーブル(付属部品)の接続

1. 機器本体からの電源配線(黒、白、緑・黄)と電源ケーブル(付属部品)をコネクタで接続してください。

電源ケーブル(付属部品)

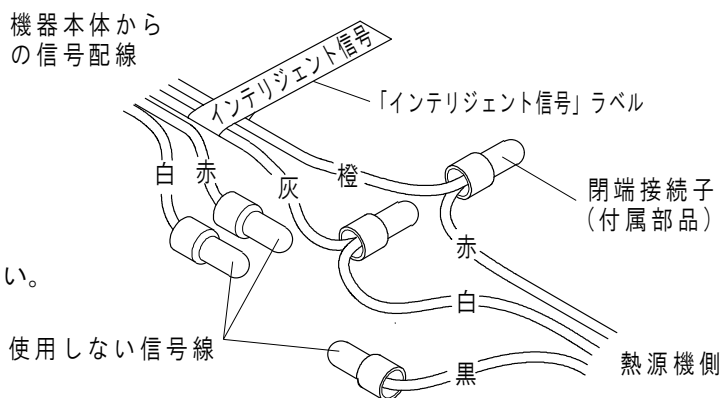


信号線の接続

インテリジェント信号線に接続する場合

1. 信号線(「インテリジェント信号」ラベル貼付)を閉端接続子(付属部品)にて圧着してください。
(熱源機側の黒色のリード線は接続しません)

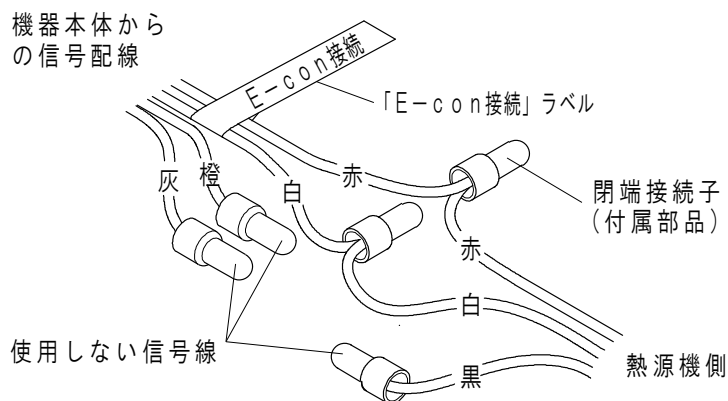
「E-con」ラベル貼付の信号線には接続しないでください。



E-con 接続の場合

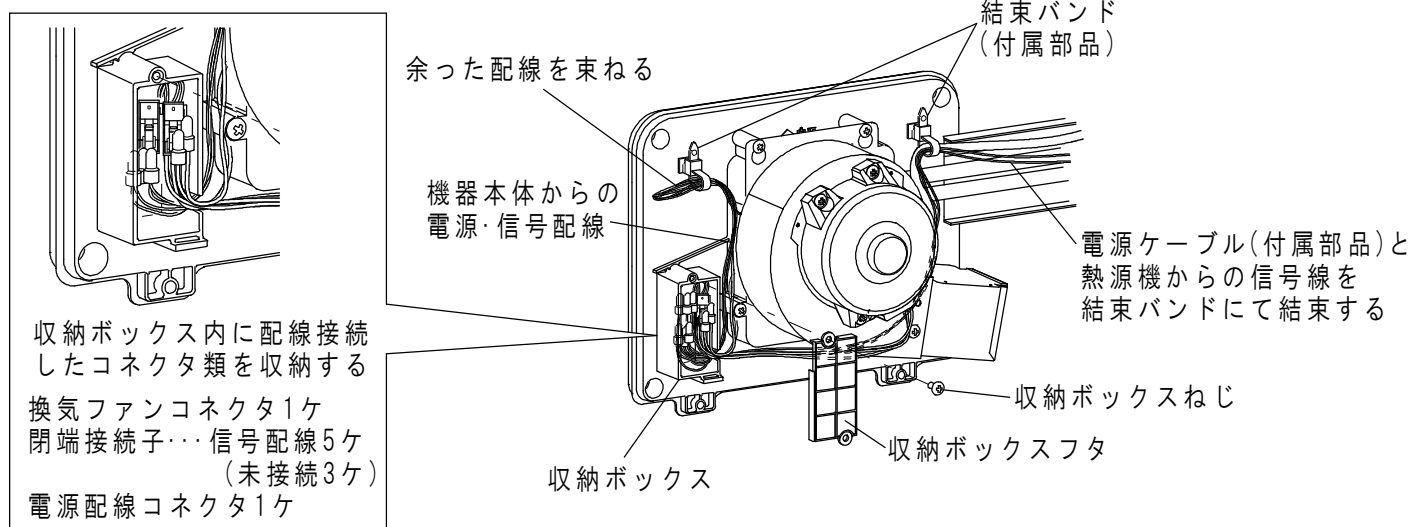
1. 信号線(「E-con 接続」ラベル貼付)を閉端接続子(付属部品)にて圧着してください。
(熱源機側の黒色のリード線は接続しません)

「インテリジェント信号」ラベル貼付の信号線には接続しないでください。



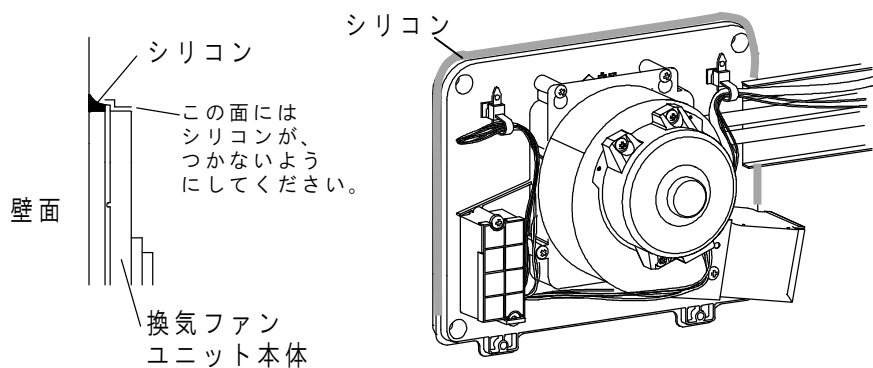
換気ファンユニット配線接続例

1. 電源ケーブル・信号線の配線接続後、換気ファンユニット本体の収納ボックスのねじをはずしてフタを開けてください。
2. 収納ボックス内に配線接続したコネクタ類を収納してください。収納後、フタを取り付けてください。
3. 余ったケーブルは、結束バンド(付属部品)を換気ファンユニット本体に取り付け結束してください。

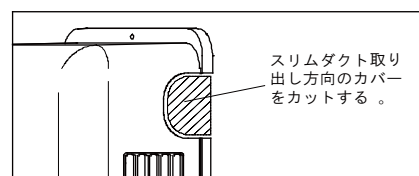


換気ユニットカバーの取り付け

1. 換気ユニット本体の周囲（上部・側部）をシリコンコーキングしてください。



2. 換気ユニットカバーのスリムダクト取り出し方向のカバーをカッター等でカットしてください。
換気ユニットカバーのスリムダクトを接続しない方向の溝部はシリコンでコーキングしてください。

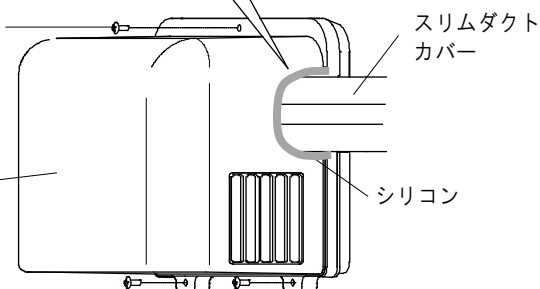


3. スリムダクト(別売部品)を取り付け後、換気ユニットカバーと換気ファンユニット本体を換気ユニットカバー固定ねじ 3 本(付属部品:φ4×10)で取り付けてください。

換気ユニットカバー
固定ねじ(付属部品)

4. 換気ユニットカバーとスリムダクトの接続部をシリコンでコーキングしてください。

換気
ユニットカバー



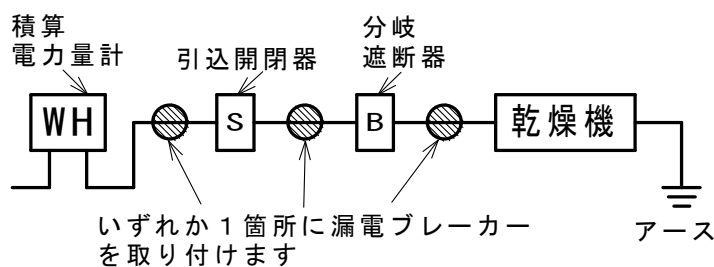
5. 電気工事

(1) 電源工事

1. 電源分岐部を確認してください。電源はできるだけ近くから分岐してください。
2. 回路上に漏電ブレーカー（感度 15mA 以下）が設置されているかを確認してください。
3. 漏電ブレーカーが設置されていない場合は、下図のいずれか 1 カ所に必ず漏電ブレーカーを設置してください。

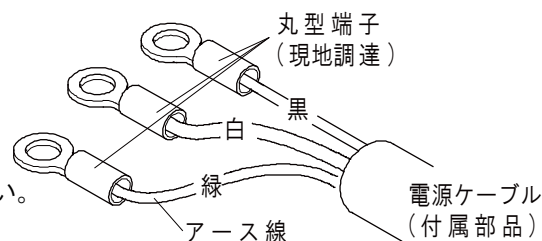
⚠️ 注意

漏電ブレーカーを必ず取り付けてください。
感電防止のため、漏電ブレーカーの取り付けが法規によって義務づけられています。



電源を熱源機の漏電安全装置からとる場合

1. 電源ケーブル(付属部品)を熱源機の漏電安全装置まで引いてきてください。
2. 電源ケーブルを長さに合わせてプラグ側を切断し、丸型端子(現地調達)を圧着します。
3. 熱源機の電源が入っていないことを確認し、電源ケーブルを熱源機の中に引き込んでください。
4. 熱源機の漏電安全装置負荷側(2 次側)に電源ケーブルを接続してください。
5. 熱源機のアース接続部に電源ケーブルアース線を取り付けてください。
6. 電源ケーブルを熱源機にクランプ(付属部品)で固定してください。



(2) アース工事

万一漏電したときの感電事故防止のために必ずアースを接続してください。
電気設備技術基準（第 28 条）に基づき、D 種接地工事を行ってください。（接地抵抗 100Ω 以下）

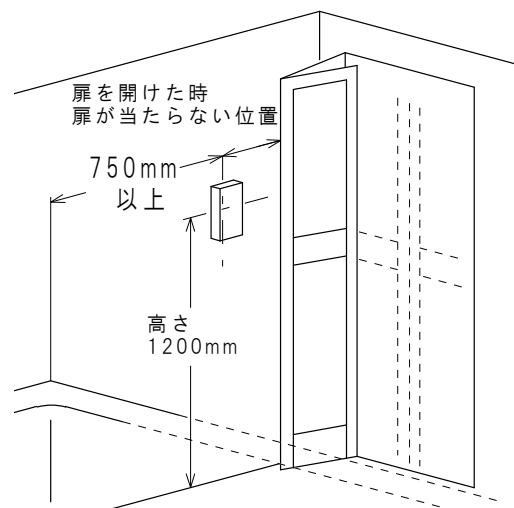


6. リモコン(付属部品)の取り付け

(1) リモコン取り付け位置の決定

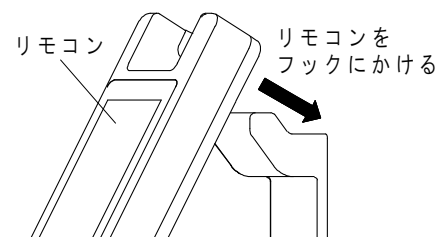
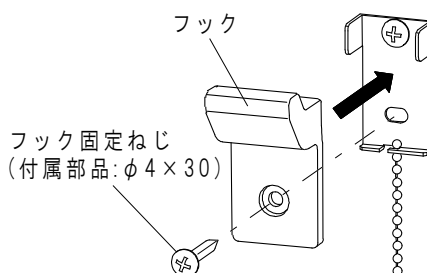
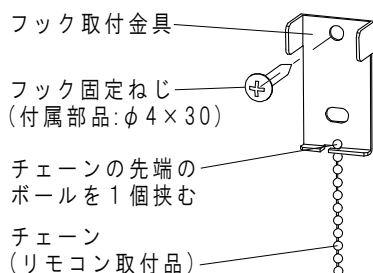
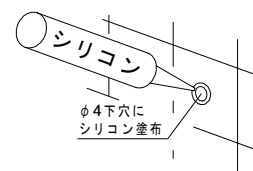
- ・リモコンは浴室内に設置しますが、取り付け位置はお客さまとご相談の上決定してください。
- ・リモコンは浴室内の扉の近くで浴槽の反対側の壁に設置してください。扉を開けた時リモコンに当たらないように注意して設置してください。
- ・右図の位置に設置できない場合は、浴槽から 750mm 以上離れた位置に設置してください。
- ・必ず送受信できる場所に設置してください。
- ・脱衣室に設置する場合は、浴室の扉を開けてもリモコンが機器本体に向けて無理なく操作できる位置に設置してください。

リモコンは浴槽の湯に浸けると故障の原因となります。
必ず浴槽の中に入らない位置に設置してください。
リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。



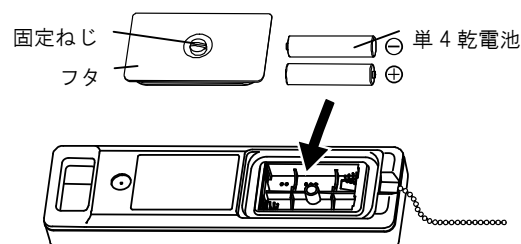
(2) リモコン・フックの取り付け

- ・浴室の壁の材質に応じたプラグ（現地調達）を使用してください。
 - ・浴室内に設置する場合は、固定ねじの下穴の周囲にシリコンを塗布してください。
 - ・フックは必ず平らな面に取り付けてください。取り付け面に凹凸があるとチェーンが外れる場合があります。
1. フック取付金具(付属部品)をフック固定ねじ 1 本(付属部品:φ4×30)で水平に取り付けてください。
 2. フック取付金具の溝に、チェーンの先端のボールを 1 個分挟んでください。
 3. フック（付属部品）を水平にフック取付金具に壁まで押し込んでください。
 4. フック固定ねじ 1 本(付属部品:φ4×30) で固定してください。壁とフックに隙間がないことを確認してください。
 5. リモコンをフックへかけてください。



(3) 乾電池の入れ方

1. 硬貨などを使って、フタの固定ねじをゆるめフタを開けてください。
2. 単 4 形乾電池 2 本（付属部品）を入れてください。
入れるときには⊕⊖を間違えないでください。
3. フタを閉じ、固定ねじを締めてください。



7. 設置工事後の確認

- ・設置工事が終わりましたら、もう一度以下の項目を確認してください。
- ・付属部品、別売部品は、設置工事説明書で指定されているものを使用しているか確認してください。

機器およびその周辺について

- ・機器の設置場所の条件は満足していますか。
- ・機器や配管の接続部から水漏れはありませんか。
- ・機器の取り付けは確実にされていますか。
- ・壁面とのシールは確実にされていますか。
- ・点検・修理などの保守・管理上必要な空間はありますか。

電気配線について

- ・機器への配線は、指定された工事で行われていますか。
- ・電源ケーブルや信号線の接続、コーキングは確実ですか。
- ・アース（接地）工事はされていますか。

8. 試運転

- ・取扱説明書の内容に従い試運転を行い正常に作動することを確認の上、お客さまに使用方法を説明しお渡しください。

1. 熱源機を運転できる状態にしてください。
2. 浴室暖房乾燥機本体の電源を入れてください。
3. 取扱説明書のご使用方法に従って各モードの作動を確認してください。
4. 作動中に異常音、水漏れがないことを確認してください。
5. 温風の吹き出し方向が適切か確認してください。

注) 浴室内の温度が高いとき（約 40℃）は窓などを開け、室温を下げてから試運転をおこなうようにしてください。

9. ランドリーパイプ(別売部品)の取り付け

- ・ランドリーパイプは、別売部品の FB-3000 を使用してください。

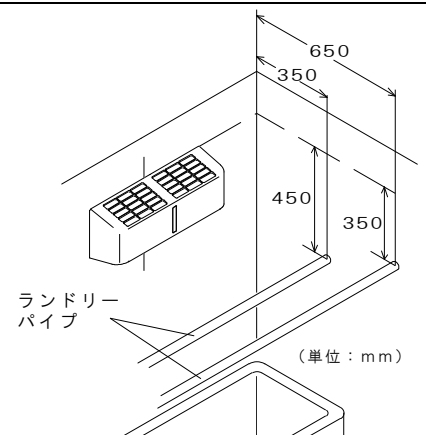
1. ランドリーパイプは 0.95～1.8m まで伸縮します。取り付け部の寸法に合わせて調節してください。
2. 下図の取り付け位置に水準器でレベルを合わせて固定してください。

注) 正規の位置より大きくずらさないでください。

照明等で正規の位置に取り付けられない場合は温風が十分あたる位置に取り付けてください。

ランドリーパイプには最大 4kg までかけられます。洗濯物以外かけないようにしてください。

ユニットバスに取り付ける際は壁面を補強、またはユニットバス用プラグ（現地調達）を使用してください。

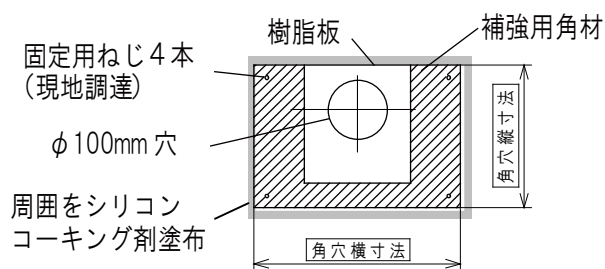
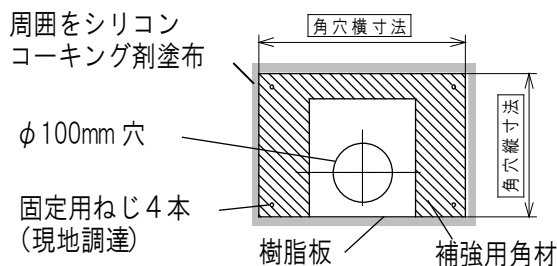


10. 既存の換気口を利用した取り付け

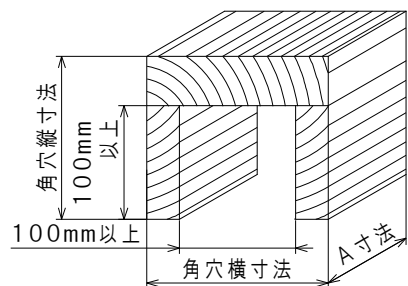
・機器の設置場所の条件を満足しφ100 穴が既存の換気口の中に収まる場合、角穴用閉塞板(別売部品：FB-3001)を使用して既存の換気口を利用して取り付けてください。

1. 屋外、浴室内の既存換気口（ガラリ、換気扇等）を取りはずしてください。
2. 角穴用閉塞板（別売部品：FB-3001）、樹脂板または、ステンレス板（t0.5mm 以上、現地調達）を右図寸法に合わせてカットしてください。
3. カットした樹脂板を浴室内外の既存の換気口部に仮止めしてください。
4. φ100 穴のセンター位置を右図の寸法に合わせてロングドリルで内外 2 枚の樹脂板を貫通させてください。
5. 仮止めした樹脂板を一度外して、φ100 穴を開けてください。
注）樹脂板を壁に取り付けたままφ100 穴を開けると樹脂板が割れる可能性があります。
6. φ100 穴を開けた樹脂板を再び取り付けて、周囲はシリコンでコーキングしてください。この時、樹脂板の取り付け向き、方向などを注意してください。

※本体取付板または、外カバー本体を樹脂板に直接止めなければならない場合は、ねじ止め部の箇所にあたる部分に補強用角材を置いてください。
角材は接着剤または、釘等で固定してください。



参考：補強用角材寸法



A 寸法：壁厚－（閉塞板の板厚×2）

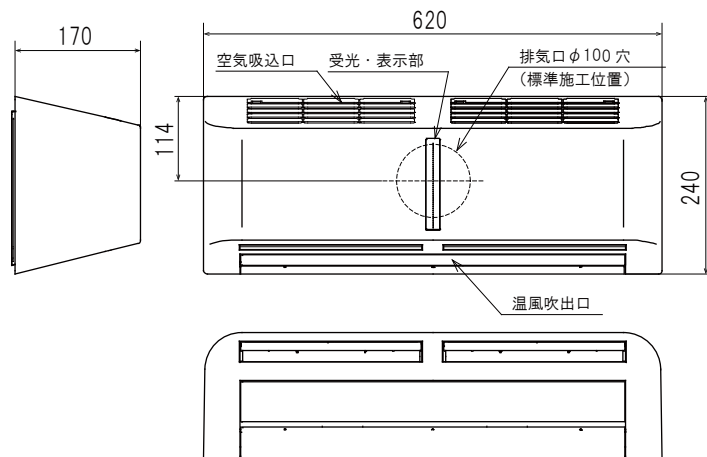
11. お客さまへの説明

- ・取扱説明書に従って使用方法を説明してください。特に「必ずお守りください」についてよく説明してください。
- ・取扱説明書に従って「アフターサービス」について説明してください。
- ・取扱説明書の保証書に必要事項を記入し、必ずお客さまに渡してください。

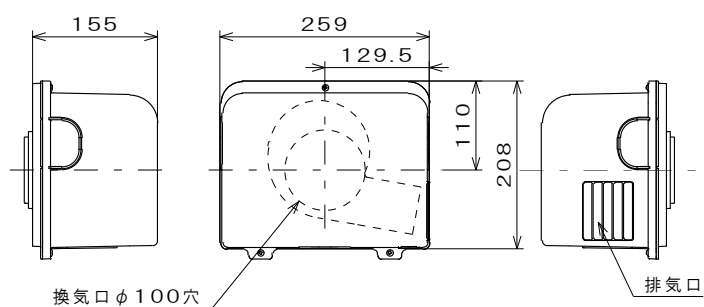
1 2. 外形寸法図

本体

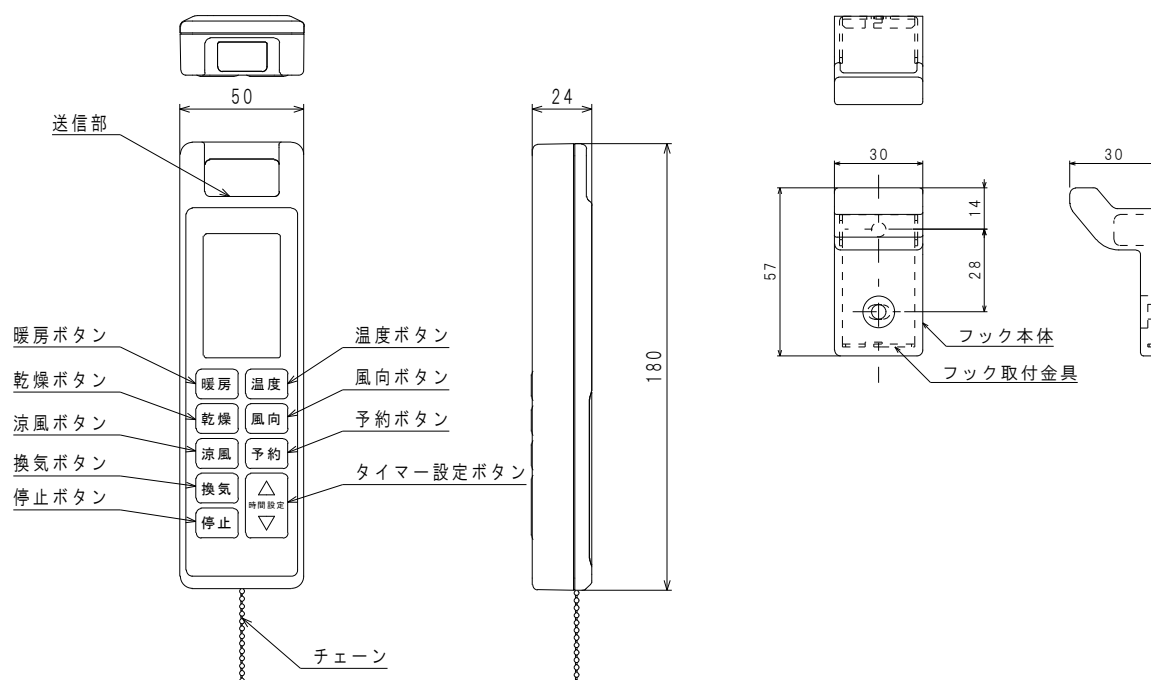
(単位：mm)



換気ファンユニット (付属部品)



リモコン (付属部品)



パーパス株式会社

〒417-8505 静岡県富士市西柏原新田 201

4 R 7 1 0 2 - 3